

**CASBEE 広島 2016年版**  
**(仮称)ラルステージ天神川駅前**

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>配慮項目</b>										
<b>Q 建築物の環境品質</b>										<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>							0.40	-	-	<b>3.6</b>
<b>1 音環境</b>						<b>1.0</b>	0.15	<b>2.8</b>	1.00	<b>2.6</b>
1.1 室内騒音レベル						<b>1.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	
1.2 遮音						<b>1.0</b>	0.50	<b>2.6</b>	0.50	
1 開口部遮音性能		開口部(玄関ドア以外)T-2を使用 建具表				1.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	-	1.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						3.0	-	3.0	-	
<b>2 温熱環境</b>						<b>1.0</b>	0.35	<b>5.0</b>	1.00	<b>4.6</b>
2.1 室温制御						<b>1.0</b>	0.50	<b>5.0</b>	1.00	
1 室温						1.0	0.63	-	-	
2 外皮性能		住宅性能評価等級4の仕様を確保				1.0	0.38	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性						3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御						<b>1.0</b>	0.20	-	-	
2.3 空調方式						1.0	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>						<b>2.5</b>	0.25	<b>2.7</b>	1.00	<b>2.7</b>
3.1 昼光利用						<b>4.2</b>	0.30	<b>2.5</b>	0.50	
1 昼光率		住居部:1.2%以上確保 昼光率図				5.0	0.60	2.0	0.50	
2 方位別開口						3.0	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						<b>2.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	
1 昼光制御						2.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						<b>3.0</b>	0.15	-	-	
3.4 照明制御						<b>1.0</b>	0.25	-	-	
<b>4 空気環境</b>						<b>3.6</b>	0.25	<b>3.7</b>	1.00	<b>3.7</b>
4.1 発生源対策						<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63	
1 化学汚染物質		共用部及び住居部共、建築材料(F☆☆☆☆)をほぼ全面に使用				4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						<b>3.0</b>	0.40	<b>3.3</b>	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		確認済であるため 居室1/7開口を確保				3.0	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視						5.0	-	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>						-	0.30	-	-	<b>2.1</b>
<b>1 機能性</b>						<b>2.0</b>	0.40	<b>1.4</b>	1.00	<b>1.4</b>
1.1 機能性・使いやすさ						<b>1.0</b>	0.40	<b>1.0</b>	0.60	
1 広さ・収納性						-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応						-	-	1.0	1.00	
3 バリアフリー計画						1.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						<b>3.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40	
1 広さ感・景観						-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						<b>2.5</b>	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計						3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						2.0	0.50	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>						<b>2.6</b>	0.30	-	-	<b>2.6</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振						<b>3.0</b>	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						<b>2.5</b>	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		排気ダクトにスパイラルダクトを採用				4.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						1.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						<b>1.8</b>	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						2.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20	-	-	

<b>3 対応性・更新性</b>			1.4	0.30	2.6	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり			-	-	3.2	-	0.50
1 階高のゆとり	断面図より階高2.91mを確保		3.0	-	4.0	-	0.60
2 空間の形状・自由さ			3.0	-	2.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり			3.0	-	2.0	-	0.50
3.3 設備の更新性			1.4	1.00	-	-	-
1 空調配管の更新性			1.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性			1.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性			1.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性			1.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性			1.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	2.0
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	ボーテ部の庇/住戸部分のバルコニー/監視カメラ/駐車施設		4.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	3.3
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制	住宅性能評価等級4の仕様を確保		4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm]: 0.92		3.8	0.50	-	-	3.8
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	-
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-		1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)	ノンフロン断熱材を計画しているため		5.0	0.50	-	-	-
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮	可能な限りCO2を削減		5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	-	2.3
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制			1.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
1 騒音			3.0	1.00	-	-	-
2 振動			-	-	-	-	-
3 悪臭			-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	-
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	-